

## 山形歯科専門学校同窓会会員研修会並びに 創立50周年記念同窓会名簿発刊記念パーティー

平成29年11月19日(日)午後2時より「山形国際ホテル」において「山形歯科専門学校同窓会平成29年度会員研修会並びに創立50周年記念同窓会名簿発刊記念パーティー」が開催された。永田秀昭山形県歯科医師会会長、大貫英一山形歯科専門学校校長、奥山博和副校長を来賓としてお迎えし同窓生を合わせて42名の参加となった。佐藤則子同窓会会長より開会の挨拶があり、その後研修会が行われた。

フリーアナウンサーでマナー講師の佐藤博子氏を講師に迎え「マナーはコミュニケーションツール」と題したお話であった。自分の想いを相手へ100%伝えるためには言葉が35%、五感が65%を占めるため無意識のメッセージを大切にすること。さらに、自分が思っている以上に言葉にしないと伝わらない「1.5倍の法則」やプロトコール（世界共通マナー）としてレディーファーストが男性を輝かせる要因である等、マナーは相手への心遣い、気遣い、振る舞いで丁寧に届ける事が大事であるということを学んだ。すぐにも実践しなければならぬと皆肯きながら聴いており、大変楽しく



佐藤則子同窓会会長の挨拶



講師の佐藤博子氏



永田秀昭形歯会長のご挨拶



パーティー 大貫校長による乾杯

有意義な内容であった。

続く創立50周年記念同窓会名簿発刊記念パーティーでは、永田形歯会長の挨拶、大貫校長の乾杯で記念パーティーが開宴した。宴も大いに盛り上がる中、歯科技工士科出身の太田春彦前会長より「バック・トゥ・ザ・歯科技工」と題して話題提供があった。最新の技工から昔の技工へと遡っていくという内容で、今では希少価値のあるかつての歯科技工物の写真を見て、感心する声と懐かしむ声があがり、時代の流れを実感しながらの和やかなパーティーとなった。同窓生として三科一緒に過ごした学生時代の話やお互いの近況報告なども数多く交わされてとても楽しい時間をともにすることができた。最高潮の中、奥山副校長から「先程の研修会で洋食のマナーは皿の上にナイフを置くときは相手に刃を向けないということでしたが、白い歯は大いに見せましょう。」と中締めという言葉があり拍手喝采の中閉会した。



(歯科技工士科3期生 鈴木 淳 記)